

私の持ち味って何？

私の高校時代は日本が高度経済成長の真っ只中で、故郷の八幡は北九州工業地帯と呼ばれてたいへん活気がありました。とはいえ海外旅行に行ったり、シャネルやエルメス持ってる人なんて稀で、一様に昭和の慎ましい生活でした。ただ音楽シーンだけは早熟で、コンサートと聞けば大人も子供もこぞって出かけて行きました。タダ券をもらってアートプレイキー(ジャズの大御所ドラマー)を聴いたのもこの頃ですが、残念ながら当時の私はジャズにはまったく興味が無く、延々と続くわけのわからない演奏が退屈でした。でも、そのインパクトだけは今でも忘れられないな～。ジャズ?…おっ!今回は12月号!ちょっと脱線しますがクリスマスならジャズシンガーのNat King Coleの名唱「The Christmas Song」をぜひ聴いてみてください。美しいメロディと古き良きアメリカの暖かい家庭を描いた心温まる歌です。

さて話を戻しましょう、シンガーソングライターだった頃の私は井上陽水さん(アンドレカンドレ)がトリをやったコンサートや、大物さんの前座で唄ったりしていました。ある時、アリスの前座をやった後、そのま

ま舞台袖でステージを見ました。谷村さんの歌やお喋りは本当に素晴らかった!凄く勉強になった。しかし帰る道すがら今日1番好きだった曲は何かなって考えてみたら、谷村さんでも堀内孝雄でもなく、もう一人のアリス矢沢透、きんちゃんのバラードだったのです。ぜんぜんヒットした曲じゃないし、お喋りも今一つのきんちゃんが好きっていう自分がすごく不思議でした。実は、それが自分の事を考える第一歩になりました。きんちゃんだけが持っている独特の持ち味が好きだったのです。では、私の持ち味って何?それからは自分の持ち味探しのために「喋り」の台本を書いては失敗の連続。そして喋りは諦めた。ウケ狙いの曲も書いたけど、まったくウケないのでやめた。そのうち何だか混乱しちゃって、結局私は自然体でいるしかなかった。一人一人に必ず持ち味がある…でも無理しちゃダメ、いつか私にもきつと解る時が来るさ～と呑気に構えることにした。その頃、九州のテレビ局から私をメインに週1の番組を制作すると連絡がきたので、もちろん!お願いしまーす!嬉しかったな～。第1回目の収録、緊張で何も覚えてないけど、土曜日の17



Kei Hoshino

2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される

時のゴールデンタイムにオンエアされました。しかし残念ながらこの1回で私は辞めることになりました。学校の先生が番組を観てたからです。私が通うのは私立の女子校で厳格な校則がありました。ジーンズはダメ、長い髪は三つ編み、ましてやギター抱えてテレビで唄うシンガーソングライターなんて言語道断だったのです。「人前で歌う時はきちんと制服を着て讚美歌を唄いなさい」とお叱りをうけました。そういう学校を選んで入学したのですから、ごもつとも、楽しかった九州でのコンサート生活はこれでおしまいとなりました。わかってます、高校を中退するなんでもってのほかでしたから。でも心がね、悶々とした日々でした。でもその悶々も直ぐに晴れる時がやってきます。第8回ポプコン出場のお誘いがヤマハ九州支店から来たのです。わーい!応募したい～。懲りない私です。(つづく)